

緊急事態宣言延長でも、この日に実施します

9月14日（火）沖縄戦・太平洋地域遺骨問題

沖縄戦遺骨収集ボランティア ガマフヤー

厚労省・外務省と話す！

防衛省の非人道性を正す！

場所：衆議院第1議員会館 地下1階大会議室 開場午後1時

遺骨の混じる沖縄南部土砂を基地建設のため海に投げ捨てることに大きな反対の声が沖縄県で起こりました。本土でもようやくこの問題が伝えられてきました。遺骨を掘り続けてきた沖縄戦遺骨収集ボランティア・ガマフヤーの具志堅さんが、その遺骨を家族とふるさとに帰そうと奮闘しています。そのための方法が、皆さんよく聞く DNA 鑑定、そして初めて聞かれる方も多いと思いますが安定同位体比検査です。DNA 鑑定は遺骨を家族に、安定同位体比検査は遺骨をふるさとに帰す検査と言えます。厚労省は 10 月から太平洋全域の遺族に DNA 鑑定を呼び掛けます。遺族への広報や援助は十分か？鑑定の体制はどう拡大するのか？この学習会・意見交換会は遺骨を家族やふるさとに帰す正念場で開催されます。今回、安定同位体比検査を活用し、日本に日本兵だとして持ってきたロシアやフィリピン人等の遺骨を各国に返還し、米兵、韓国・台湾の旧日本兵の遺骨は家族や生まれ故郷へ、また日本各県の遺骨は各県に帰すことも提案します。

(1部) 午後1：30～2：25

■染田先生(防衛医科大学)の安定同位体比検査の学習会

(2部) 午後2：30～3：45

■戦没者遺骨、厚労・外務・防衛3省意見交換会

(3部) 午後3：45～4：00

■沖縄南部土砂問題、防衛省に3万3千人の署名提出

■厚労省にDNA鑑定集団申請・名簿提出

連絡先 具志堅 090-3796-3132(ガマフヤー)

上田 090-2062-5695(戦没者遺骨を家族のもとへ連絡会)

武田 090-1853-1446(平和を作り出す宗教者ネット)

*緊急事態宣言が延長の場合は、染田先生・厚労省等はズーム出席となります。延長されない場合は対面の学習会・意見交換会となります。なお、参加の皆様はマスクなど感染対策を十分にしてお越しく下さい。午後1時から開場します。